

特集

インフラの魅力が 伝わる広報へ ～地域の成功例に学ぶ～

わが国では、インフラ整備に関して国民生活や経済活動にきわめて重要な役割を果たしていることが十分に認識されておらず、社会資本整備を負のイメージとしてとらえる状況が続いていました。

関係機関等においては、インフラ整備の必要性を一般の人に自らの目でみて、その役割に気づいてもらうように「伝わる」広報活動等が展開されてきました。各地域では、住民の理解を得ることや地域の担い手を確保すること等に向けて、行政や民間団体で様々な手法で広報の取組みが行われてきました。

昨今ではメディアを使ったPR、フェイスブックなどのSNSを活用した広報活動等、様々なツールがある状況のもとで、狙いに応じてどのようにして効果的な広報活動を行うべきか、多くの全建会員にとって悩みのひとつとなっています。

今号の特集では総論として、メディアから見た伝わる広報を紹介するとともに、地方整備局、地方公共団体等で取り組んでいる広報活動として、メディアを戦略的に活用した事例、工事現場の見せ方を工夫した事例、被災からの復興に向けた広報の事例等を紹介します。

特集担当：野坂 周子
国土交通省 大臣官房 技術調査課 技術企画官



海洋漂流物の回収の取組についてマスメディアを活用して情報発信する四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所（本号 P31～33「ドローン撮影動画を映像素材として提供することとした報道案内」より）



CONTENTS

メディアから見た「伝わる広報」とは	8
インフラの歴史を文学と共に学ぶ	11
SNSを活用した情報発信の取組	14
紅葉谷川庭園砂防施設の重要文化財指定に合わせた積極的広報	18
TSUNAGUくまもと実行委員会	22
つなごう肱川プロジェクト	25
音が伝える！ひとが伝える！下水道の魅力	28
ドローン撮影動画等を映像素材として提供することとした報道案内	31